

# 有機栽培による生きもの保全への取り組み

《高島町》

地区名	生き物の名前	生き物の主な活動場所				生き物の主な活動時期
		水田	水路・ため池	その他	状態	
高島町深沼	ヨーロッパカブトエビ	○			きれい	5月～7月

保全活動に取り組んでいる場所



おきたま興農舎では、有機栽培などの環境にやさしい農業を行っています。水田内でカブトエビが繁殖し、除草を行っている田んぼがあります。

◆カブトエビは代掻きの水が入るとふ化を始め、稲の生長に伴い田んぼを乾かす前の時期に卵を産んで次の世代を残し、寿命を迎えます。

◆まるで米作りに合わせたかのような生態を持つカブトエビは、除草剤を使わずとも雑草の発生を抑える効果があり、有機農業にとっては大変有用です。

調査の様子



慣行栽培水田(左)  
カブトエビの発生が見られず、除草剤を使用しても藻類が蔓延しています。

カブトエビが繁殖した水田(右)  
除草剤を使わなくても雑草や藻の発生もなくきれい。

カブトエビ



カブトエビが活動して田の水が濁った状態

◆カブトエビの発生数が少なければ効果も小さいので、毎年自然発生させてカブトエビを増やすには作業上の工夫が必要です。

問い合わせ先

(株)おきたま興農舎

TEL : 0238-57-4116

FAX : 0238-57-4117